



Minami Wakayama
Medical Center

Vol.68

発刊：令和6年11月

南 輝

なんき

独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センターだより



富士山

基本理念 思いやりのある医療を実践します。

あなたの権利を尊重し
あなたを中心とした
あなたに適した医療を提供します

1. プライバシーの尊重を実践します。
2. 親切・丁寧なケアを実践します。
3. わかりやすい説明と納得による診断治療を実践します。
4. 地域医療機関との連携強化を図ります。
5. 自ら研鑽に努め、良質な医療の提供に役立てます。



Minami Wakayama
Medical Center

南和歌山医療センターの基本理念である
『思いやりのある医療を実践します』に基づき、

1. 明るく (A)
2. 挨拶があり (A)
3. 愛のある (A)
4. アカウンタビリティ (納得説明義務) (A)

の4つの頭文字のAを基本デザインとしています。

これは丸みをおびた形でやさしさを表現し、4つの理念が集まることで、空 (明るい未来) に向かって羽ばたく鳥を表しています。4つのカラーは黄色が明るさ、赤が愛、青と緑は南和歌山の自然の象徴である綺麗な海と、山を表現し、南和歌山医療センターの環境の良さもアピールしています。

受診者の皆様の義務

- 南和歌山医療センターは受診者の皆様と病院の双方がお互いに尊敬し、協力し合うことが安全かつ良質な医療の提供につながるものと考えています。
受診者の皆様には以下の事項に合意し、守っていただく必要があります。
1. 安全かつ最善の診療のためにご自身の身体や必要事項に関する情報を、私たち職員に正確に伝えていただくこと
 2. 検査・治療は説明を受け、納得・合意の上で受けていただくこと
 3. 当院は近隣の医療機関と連携して専門性の高い医療を提供する急性期病院である。救命救急、がんに対する医療と緩和ケアを提供する病院の役割をご理解の上、診療体制維持に協力いただくこと
 4. 病院内では静粛を保ち、院内のルールに従っていただき、他の来院者や入院中の方に迷惑をかけることのないよう配慮していただくこと
 5. 病院内ではお互いに礼儀正しく思いやりのある態度で接していただくこと
 6. 医療費の支払い請求を受けたときは遅滞なくお支払いいただくこと

受診者の皆様の権利

- 患者としてあなたには
1. 良質で公平な医療を受けられる権利があります。
 2. 人格や価値観を尊重される権利があります。
 3. 個人情報を守られる権利があります。
 4. 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
 5. 治療法を選択できる権利があります。
 6. 治療法について、第三者の意見を聞くことが出来る権利があります。
 7. 貴方の診療記録の開示を求める権利があります。

新任医師紹介

どうぞよろしくお願い致します。



救命救急科医長 中島 強 (なかしま つよし)

みなさま初めまして

7月から救命救急科で勤務しております。研修医時代にいろいろ学ばせていただいたこの紀南地域で、再び働く機会をいただき大変嬉しく思っています。地域の救急医療に少しでも貢献できますよう、尽力いたします。何卒よろしくお願い申し上げます。



整形外科医師 神藤 一紀 (しんとう かずのり)

2024年7月より南和歌山医療センターに赴任してきた神藤一紀と申します。これまでは橋本市民病院、海南医療センター等で、一般整形外科、外傷等を中心に診療にあたっておりました。整形外科疾患は仕事や日常生活での動作を困難にし、皆様の生活の質を下げの一因となると考えています。こうした運動器疾患による症状を改善し、紀南地域の皆様がいつまでも元気で動ける状態にあるための手助けができれば幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

整形外科医師 石本 悠介 (いしもと ゆうすけ)

2024年7月より南和歌山医療センター整形外科に赴任しました石本悠介と申します。これまでは和歌山県立医科大学附属病院、橋本市民病院で勤務しておりました。まだまだ未熟な点もたくさんあると思いますが、紀南地域の医療に貢献し、皆様が笑顔になれるよう精一杯努力致しますので、どうぞよろしくお願い致します。



乳腺外科医師 中村 理恵 (なかむら りえ)

本年7月より南和歌山医療センター乳腺外科へ赴任となりました中村理恵と申します。この6月まで、県内紀の川市にある公立那賀病院にて乳腺外科を中心に診療を行ってました。乳癌をはじめ、乳腺疾患全般の診断・治療を通して紀南地域の医療に貢献できるよう尽力して参ります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



形成外科医師 橘 五月 (たちばな さつき)

7月より南和歌山医療センターの形成外科部門にて勤務することになりました。私は四肢外傷を中心に、専門的かつ高度な医療を提供することに注力して参ります。形成外科の分野での深い知識と経験を活かし、患者様の生活の質の向上を支えることを目標としています。また、将来的には当院が形成外科の関連施設として認定されることを目指し、その基盤作りに貢献できるよう努めます。職員の皆様と協力しながら、地域医療の発展に寄与していく所存です。この新たな挑戦に、心より期待しております。



消化器科医師 岡本 滋史 (おかもと しげふみ)

2024年10月より南和歌山医療センター消化器内科に赴任して参りました、岡本滋史と申します。これまでは和歌山県立医科大学附属病院、紀南病院で勤務しておりました。消化管領域や胆膵領域を中心に良性疾患から悪性疾患まで、幅広く診療に携わらせて頂きたく存じております。消化器診療を通して紀南地域の医療に貢献できるように努めていきます。皆様これからどうぞ宜しくお願いいたします。



消化器科医師 平田 昌吾 (ひらた しょうご)

この度和歌山県立医科大学附属病院 消化器内科より南和歌山医療センターに赴任しました平田昌吾です。消化管・胆嚢・膵臓疾患に対しての内視鏡治療などを中心に内科疾患の診療をさせていただきます。消化器内科としてはまだまだ駆け出しではございますが、紀南地域の医療に少しでも貢献できるように日々精進して参ります。何卒宜しくお願い申し上げます。



外科医師 尾崎 祥子 (おさき しょうこ)

初めまして。令和6年10月より和歌山県立医科大学第2外科から赴任しました尾崎祥子と申します。和歌山南部の医療の中核を担う当病院で勤務できることを嬉しく思っています。3か月と短い期間ですが、腹腔鏡手術の上達、腹部救急疾患への対応など身につけられるよう精一杯診療に取り組んでいく所存です。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。



外科医師 熊野 万理恵 (くまの まりえ)

はじめまして、令和6年10月より当院外科に赴任して参りました熊野万理恵と申します。和歌山県立医大を卒業し、和歌山労災病院で初期研修を修了しました。この地域での勤務は初めてですが、できる限り早く新しい生活に慣れ、地域の医療に貢献できればと思っております。至らない点もあるかと思いますが、精一杯努力して参りますのでよろしくお願い申し上げます。

ドクターカーが新しくなりました!

今後もし早く
救急現場に
出動できるよう、
励んでまいります!!



骨密度検査(DXA法)について

当院では新たに骨密度測定装置(DXA法)を導入しました。

骨密度は、骨の強さを測定するための代表的な指標で、若い人の骨密度の平均値と比べて自分の骨密度がどれくらいあるか(〇〇%:YAM値 Young Adult Mean値)を調べます。80%未満は要注意、70%以下まで減ると骨粗鬆症と判定されます。

測定方法にはいくつかあり、DXA法(腰椎+大腿骨)・超音波測定法(踵骨)やMD法(手のレントゲン)などがあり、その中でもDXA法(腰椎+大腿骨)は精度が高く、日本骨粗鬆症学会ガイドラインで標準の測定法として定められています。現時点で骨密度の評価をするうえで最も信頼される検査です。撮影時間は5~10分程度で仰向けの状態で寝て行います。放射線被ばくに関してですが、通常の胸部X線撮影に比べ約1/7と少なく照射範囲も限られていますので安心してください。解析ですがセミオート機能を利用しており、検査者による測定のバラツキも少なく、検査結果の値としてYAM値が出てきますので患者様に説明するのも簡便です。定期的に複数回測定を行いますとトレンド値として表に記されますので傾向もわかりやすいです。

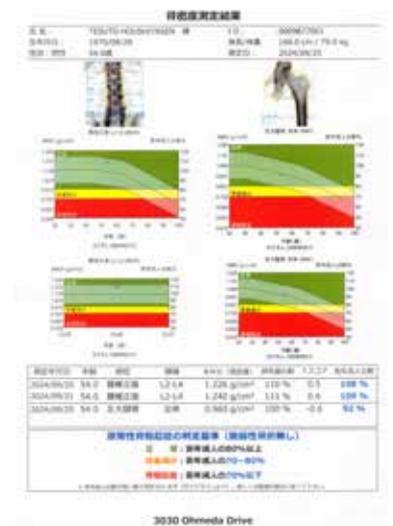
検査の注意点として

- ・数分間仰向けの態勢がとれないと検査が行えないことがあります。
- ・測定部位に金属やプラスチック類がある場合は、測定の妨げとなりますので着替えていただくことがあります。
- ・測定部位(腰椎や大腿骨)に人工骨頭などの金属がある場合は測定部位を変更したり、測定が行えないことがあります。
- ・1週間以内に造影剤を使った検査(CT・MRI・バリウム)をしていると検査が受けられないことがあります。

特に40代以降の女性の方は定期的な骨密度検査が重要です。女性の骨密度は、閉経とともに急激に低下します。女性は閉経を迎えると女性ホルモンの分泌が激減してしまうためです。女性ホルモンのエストロゲンは古い骨を壊す骨吸収の働きを緩和し、骨のカルシウムが失われるのを防ぐ作用があります。ところが女性ホルモンが激減すると骨吸収の働きが強まってしまい、骨密度が低下してしまうのです。

以下の方たちは定期的な骨密度検査を推奨します。

- ・更年期を迎えた45才以上の女性
- ・50歳以上の男性
- ・姿勢が悪くなった、身長が大きく(数cm)縮んだ
- ・家族に骨粗鬆症や大腿骨を骨折した人がいる方



編集後記

今年度も後半を迎えましたが、当院は4月の院長・副院長・看護部長といった病院幹部の大きな人事異動を皮切りに、5月にはコロナの感染症指定変更から一年が経過、8月には病院機能評価を受審、さらに診療報酬改定もあり、当院も基本料や各種加算等の見直しを行わざるを得ない項目もあり、大きな変化がありました。また、近年の気候変動により病院運営においても大きく影響を受けています。そのような変化の中でも、引き続き、地域の医療に貢献できるよう取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。

企画課長 関子誠二